いしおか市議会だより

No.90

Ishioka City Council News -No.90-

令和５年
第４回定例会
（11月28日～ 12月15日）

定例会は年４回　3月　6月　9月　12月

駐車場全景（令和6年1月23日撮影）

防災備蓄倉庫

楽しむ時も災禍の時も、頼りとなる場所へ（写真／契約締結議案の可決を受け、整備が進む石岡駅西口交流施設駐車場）

ＩＮＤＥＸ

－特集－

令和４年度決算から見えたもの
～決算特別委員会～ …… 3
あらゆる課題に対応できる組織再編へ
～石岡市部等設置条例の一部改正～ …… 4
定例会ドキュメント …… 6
一般質問 …… 12
常任委員会の活動 …… 21

本年もよろしくお願い申し上げます

菱沼和幸
貝地 2
議会選出監査委員
［総務企画委員会］

岡野孝男
上曽
［文教厚生委員会］

髙野要
東府中
［産業建設委員会］

鈴木行雄
東大橋
［産業建設委員会］

山本進
国府 2
［産業建設委員会］

村上泰道
東光台 2
副議長
［文教厚生委員会］

関口忠男
根小屋
議長
［産業建設委員会］

池田正文
国府 7
［総務企画委員会］

玉造由美
真家
［文教厚生委員会］

勝村孝行
柴内
［文教厚生委員会］

谷田川泰
東府中
［総務企画委員会］

小松豊正
総社 2
［文教厚生委員会］

新田茜
若松 2
［産業建設委員会］

川井幸一
柿岡
［産業建設委員会］

櫻井茂
府中 3
［総務企画委員会］

石橋保卓
貝地 2
［総務企画委員会］

岡野孝雄
大砂
［産業建設委員会］

鈴木将史
大増
［総務企画委員会］

富田雅史
太田
［文教厚生委員会］

中根淳一
石岡 1
［文教厚生委員会］

鈴木康仁
国府 2
［総務企画委員会］

飯村一夫
下林
［総務企画委員会］

令和４年度決算から見えたもの ～決算特別委員会～

令和５年10月17日から20日にかけて、令和４年度の石岡市各会計決算議案について、決算特別委員会による審査を行いました。

質問した委員の数は、４日間で延べ36人。様々な視点から、市の行った事業や今後の見通しなどについてただしました。

委員会での主な質問をご紹介します。

決算特別委員会

前年度の各会計決算を詳しく審査するために、全議員が委員となり設置されるのが「決算特別委員会」です。

1～3日目は、各常任委員会（総務企画・文教厚生・産業建設）及び複合文化施設建設特別委員会が所管する部分の審査が行われ、最終日となる４日目には、政策的判断を要する部分などを問う総括審査と採決が行われます。委員会の審査結果は、第４回定例会開会日の本会議で報告された後、議会として「認定」「不認定」等の意思決定が行われます。

情報発信　戦略的情報発信経費

LINEの登録者数増加に向けて

問 令和4年度の石岡市公式ＬＩＮＥアカウントの登録目標5,000人に対し、実績は2,415人であり、達成率は48.3%とのこと。ＬＩＮＥを登録する際に選ぶ項目について、子育てというと幅が広く、登録のハードルを上げてしまっていないか。子育て項目の細分化の検討について、見解を伺う。

答 同じシステムを県内でも複数の市で使用しているため、情報交換などをしながら、項目のカテゴライズについても今後検討していきたい。

歳入　地方交付税

地方交付税減額の要因

問 令和４年度の地方交付税、特に普通交付税については、令和３年度で比較すると１億８,６９６万円ほど減額をしている。この要因について見解を伺う。

答 普通交付税は、地方公共団体の財政需要を合理的に測定するために策定した基準財政需要額と、財政力を合理的に測定するために算定した基準財政収入額の差により交付額が算定される。基準財政需要額の２億円の増、市税を中心に基準財政収入額も３億９,０００万円の増となったため、差額が減額となったもの。

指定管理　ふれあいの森管理運営費

指定管理料の見直しは

問 ふれあいの森のグランピング施設が大変盛況とのこと。利用料については、指定管理者の収入となっているということだが、今後も指定管理料として約5,000万円を毎年支出していくということか。

答 新たな指定管理期間の令和5年4月1日から令和10年3月31日までの5年間は、令和5年度4,350万円、令和6年度4,040万円、令和7年度3,760万円、令和8年度3,420万円、令和9年度3,090万円と、年々減少する形。それ以降収益によって、更なる見直しも想定される。

子育て　子育て世帯及び新婚世帯新生活補助金

事業内容の周知促進を

問 子育て世帯及び新婚世帯家賃助成補助金については、子育て世帯及び新婚世帯新生活補助金に移行したとのこと。移行後の実績が非常に少ないと感じる。事業の内容等を理解すれば、使いたいと思う市民が多いと考えるが、見解を伺う。

答 当市の少子化対策を進めるため、国の補助金を利用している事業。今後この事業について、市報、ホームページ等のほか、茨城県宅地建物取引業協会等を通じ、周知、協力を募っていく予定。

これらの質問を踏まえた審議結果は10～11ページへ

総務企画　文教厚生　産業建設・複合文化　総　括

▲すべての質問を網羅した、決算特別委員会の録画映像はこちら

あらゆる課題に対応できる組織再編へ
～石岡市部等設置条例の一部改正～

令和5年11月8日の総務企画委員会で執行部から、石岡市職員の組織体制の見直しを令和6年4月に実施したい旨の説明がありました。議員からは新しくできる組織について、様々な指摘がなされました。

さらに、令和5年11月14日の全員協議会では、委員会での指摘を受け検討した結果についての説明がありました。

令和5年第4回定例会では、部の再編に伴う条例の改正が必要であるとして、市長より「議案第98号 石岡市部等設置条例の一部を改正する条例を制定することについて」が提出され、議会において審議を行いました。

今回は、これまで市執行部が検討してきた内容および議会での審議の詳細についてご紹介します。

①総務企画委員会（令和5年11月8日）

見直しを行う組織体制の内容について、下表のとおり説明がありました。

	内　容	目　的
1	●生活環境課内に「空家相談室」を新設	空家対策を空家数の管理・特定空家の認定にとどめず、不動産としての利活用も一体的に取り組むことで、相談者からも分かりやすい体制を構築する。
2	●保健福祉部を「福祉部」に変更 ●「子育て健康部」を新設	児童福祉法の一部改正に伴い、子ども家庭総合支援拠点、子育て世代包括支援センター及び母子保健事業の機能は維持したうえで、全ての妊婦、子育て世帯へ一体的に相談支援を行う機能を有する機関の設置が努力義務となっていることを踏まえ、こどもと健康に特化した部を新設し、本市の子育て及び健康の推進を図る。
3	●管財課を「ふるさと納税・財産活用課」に変更	ふるさと納税の寄附額増額に向けた取組として、令和６年度より中間管理業者を増やし強化を図る体制を構築していくことから、課名を改称し、ふるさと納税の名称を明確に表すことで積極的推進を対外に発信していく。
4	●政策企画課と経営戦略課を統合 ●「関係人口創出課」を新設	すでに総合計画に行財政改革大綱を盛り込み一元化を図っており、対外的に議会等にも承認を得ている状況であるため、政策企画課と経営戦略課を統合したうえで、本市の喫緊の課題である人口減少問題への対策強化を図る。
5	●産業プロモーション課内に「企業誘致推進室」を新設	工業団地の適地選定、整備手法等が決定し、整備に着手する場合、最短で令和８年度の見込み。今後の事業展開を見据えた場合、経験や専門知識等が必要となり、当該事業に専念できる体制づくりが必要であるため。
6	●教育総務課指導室を廃止し、「学校教育課」を新設	指導室を独立した学校教育課とすることで、学校教育全般における指導業務、特に生徒指導、不登校・いじめ対応や特別支援教育を強化し、切れ目のない体制を構築する。

説明を受け、委員からは様々な指摘がありました。

空き家の活用対策は、移住・定住政策と大きくリンクしている。関係人口創出課との相談や連携を密にとっていける体制を構築してほしい。

こども未来課の「地域子育て支援センター」と、子育て支援課の「こども家庭センター」があり、市民がどちらに相談するか混乱してしまう可能性があるのではないか。

関係人口創出課の「関係人口」については、一般的な用語ではないように思う。より市民に分かりやすい名称にしてはどうか。

②全員協議会（令和5年11月14日）

総務企画委員会での委員の指摘を踏まえて修正した組織体制の見直し内容について、議員全員で構成する全員協議会で、改めて説明がありました。

総務企画委員会での指摘を受け検討した結果・・・

【修正内容】
・**「人口創出課」**を新設
・子育て健康部に**「子育て応援課」**を新設

※条例改正を伴う「部の再編」以外は、説明時点での内容となります。

③令和5年第4回定例会 開会日（令和5年11月28日）

部の再編には、その設置根拠となる条例の改正が必要であることから、令和5年第4回定例会の開会日に、市長より「議案第98号 石岡市部等設置条例の一部を改正する条例を制定することについて」が提出され、12月7日の議案質疑の後、総務企画委員会に審査が付託されました。

④総務企画委員会（令和5年12月11日）

付託された議案について、詳細な説明を受け、審査を行ったうえで、採決の結果、「原案可決すべきもの」と決しました。

【条例改正の内容】
第２条（部の設置）　：保健福祉部を削り、新たに福祉部及び子育て健康部とする。
第３条（部の分掌事務）：福祉部は、介護保険に関すること、福祉事務所に関すること。
子育て健康部は、子ども子育て支援に関すること、保健衛生に関すること。

説明を受け、様々な質問がありました。

問 人員体制と専門職の配置についてどのように考えているか？

答 令和6年4月1日時点で、定年延長者も含め行政職が533人となる予定。業務量に見合う人員体制に努めたい。専門職は、課題である建築や土木職の管理職の採用に引き続き努めていく。

問 現在の保健福祉部が福祉部、子育て健康部に分かれることで、困惑する市民もいると思う。周知方法は？

答 広報紙あるいはホームページを大前提として、政策的な内容を肉付けし、積極的に発信していきたい。

⑤令和5年第4回定例会 閉会日（令和5年12月15日）

令和5年第4回定例会の閉会日には、総務企画委員会での審査結果が報告され、採決の結果、「議案第98号 石岡市部等設置条例の一部を改正する条例を制定することについて」が全会一致で**可決**されました。

定例会 ドキュメント

◆令和5年第４回定例会
[11月28日～ 12月15日]

令和５年第４回定例会開会日　令和４年度決算議案を可決

令和５年第３回定例会で市長から提出され、継続審査としていた令和４年度各会計決算認定議案について、第４回定例会の開会日に、決算特別委員長から、いずれの議案も「認定すべきもの」「原案可決及び認定すべきもの」と決したとの審査結果が報告されました。

報告の後、討論を経て採決を行った結果、いずれの議案も認定・原案可決及び認定と決しました。

市長が35件の議案を提出

第４回定例会では、令和５年度各会計補正予算や、石岡市行政不服審査法施行条例の制定、石岡市印鑑条例の一部改正など、市長から35件の議案が提出されました。

令和５年度一般会計補正予算（第６号）は、４億２８３０万２０００円を追加し、歳入歳出総額を３８４億４６７万６０００円とするもので、主に国、県の補助事業の追加・変更等に伴う経費、緊急性の高い事業等に対応する経費などで構成されています。歳出の主な内容としては、総務費では、ガバメントクラウドへの早期移行団体検証事業実施に伴う環境構築を行うための経費として、１６０３万９０００円の増。教育費では、令和６年度の教科書改訂に伴い、教職員が使用する教科書及び指導書を購入するための経費６８８２万４０００円の増。災害復旧費では、令和５年６月２日に発生した豪雨により被災した道路を復旧するための工事費用として、道路橋りょう施設災害復旧費７８５２万８０００円の増などです。

令和５年度一般会計補正予算（第７号）は、５億４８２７万４０００円を追加し、歳入歳出総額を３８９億５２９５万円とするものです。歳出の主な内容としては、民生費において、令和５年第２回定例会で可決された価格高騰重点支援給付金に続き、低所得世帯に７万円を給付する物価高騰重点支援給付金を給付するための経費として５億４８０１万７０００円の増などです。

石岡市部等設置条例の一部改正は、組織機構の再編に伴い、部の名称及び分掌事務の一部を改正するものです。

石岡市行政不服審査法施行条例の制定は、監査委員に委任している行政不服審査法の審査庁の事務に係る権限について、委任を解除し、審査庁の事務を実施することに伴い必要な事項を定めるものです。

令和５年第４回定例会の流れ

- 11/28 本会議 開会
  - 令和４年度各会計決算認定議案の採決
  - 市長による議案提案理由説明
- 12/4～6 本会議 一般質問
  - 市長による追加議案提出
  - 市政全般に関する一般質問（15名）
- 12/7 本会議 議案質疑
  - 議案に対する質疑（２名）
- 12/8,11,12 常任委員会
  - 議案、請願の審査
  - 所管事務の調査
- 12/13 複合文化施設建設特別委員会
  - 所管事務の調査
- 12/14 議会運営委員会
  - 次回定例会の日程などの協議
- 12/15 本会議 閉会
  - 市長提出議案の採決
  - 請願の採決
  - 市長による追加議案提出
  - 追加議案に対する質疑・採決

石岡市印鑑条例の一部改正は、電子署名等に係る地方公共団体情報システム機構の認証業務に関する法律の一部改正により、多機能端末機による印鑑登録証明書の交付申請について、従来の個人番号カードを利用する方法に加え、スマートフォンに搭載された利用者証明用電子証明書を利用する方法が可能になることに伴い、所要の改正を行うものです。

石岡市国民健康保険税条例の一部改正は、地方税法の一部改正に伴い、産前産後期間の国民健康保険税の減額措置を講ずるためのものです。

石岡市火災予防条例の一部改正は、対象火気設備等の位置、構造及び管理並びに対象火気器具等の取扱いに関する条例の制定に関する基準を定める省令の一部改正に伴い、変電設備、急速充電設備、蓄電池設備、固体燃料を用いた火気設備に関する関係規定について、所要の改正を行うものです。

指定管理者の指定議案7件は、令和6年3月31日に指定管理期間が満了する施設（旭台会館、南台コミュニティセンター、杉並コミュニティセンター、勤労青少年ホーム、デイサービスセンター、特別養護老人ホームのぞみ、柏原野球公園・柏原サッカー公園及び柏原球技公園）における令和6年4月1日以降の各施設の指定管理者の指定について、議会の議決を求めるものです。

工事請負契約の一部変更議案は、令和5年第1回石岡市議会定例会において可決された工事請負契約締結議案（R4（仮称）石岡駅西口交流施設駐車場整備工事）について、JR常磐線の近接工事のため列車見張り員等が必要になったことや、建物に近接する掘削工事について想定以上に地盤が軟弱であったため鋼矢板土留等を追加すること等に伴い、契約金額を3410万円増額し、3億2370万4000円に変更するものです。

補正予算の主な事業と予算額

第4回定例会	■電算業務経費	電算業務委託料等	1,603万9千円
	■過誤納還付金（国・県負担金精算に伴う返還等）		2億2,971万3千円
	■教育振興支援事業	図書、指導書	6,882万4千円
	■道路橋りょう施設災害復旧費	市道復旧工事	7,852万8千円
	■物価高騰重点支援給付金給付事業	物価高騰重点支援給付等	5億4,801万7千円

指定管理者制度

指定管理者制度は、平成15年9月の地方自治法の一部改正により創設されたもので、直営によらない公の施設の管理手法を定めたものです。厳しい地方財政の中で多様化する市民ニーズをより効果的・効率的に対応するため、民間事業者が有する経営能力等を積極的に活用しつつ、市民サービスの向上と行政コストの縮減を目的としたものです。指定管理者の指定は、議会の議決を経なければなりません。

【地方自治法第244条の2（一部抜粋）】
6　普通地方公共団体は、指定管理者の指定をしようとするときは、あらかじめ、当該普通地方公共団体の議会の議決を経なければならない。

定例会最終日　すべての市長提出議案を可決

今回市長から提出された議案は、最終日に追加提出された人事案件（教育委員会教育長、教育委員会委員、固定資産評価審査委員会委員、石岡市及び事務組合公平委員会委員の任命・選任）を除き各常任委員会に付託して審査を行い、最終日に採決を行った結果、いずれも原案のとおり可決しました。

石岡市議会用語集

議会に関する用語を分かりやすく解説

石岡市議会ホームページでご覧いただけます。
アクセスはこちらから

議会用語集

NEXT：質疑から読み解く「ギカイの視点」

質疑から読み解く

ギカイの視点

第4回定例会

補正予算　教科書改訂に伴う指導書等購入

指導書6,816万8千円等を計上

令和６年度から小学校の教科書が改訂されることにより、教師が使用する教科書と、教材研究等に使用する指導書に係る費用を計上。新しい教科書と指導書を市内の小学校に４月までに配布する。

問　指導書というものはどういったものか、また、必要性は？

答　教職員が教科書に従って指導をするに当たり、そのねらいや指導過程、参考となる教材が記載されているもの。教材研究をする上で有効であり、指導過程の参考事例なども記載されているため、教職員の指導力向上にもつながるものであると考えている。

第4回定例会

条例　行政不服審査に関する事務の移行

施行条例を審議

監査委員に委任している行政不服審査法の審査庁の事務に係る権限について、委任を解除し、審査庁の事務を総務部で実施していくもの。

問　委任の解除と行政不服審査会委員を任命する理由は？

答　不服申立てに関する事務のうち個人情報公開請求及び情報公開請求、固定資産評価に関することは、現在総務部で実施している。共通事項も多い事務を集約化することで、人的資源の効果的な活用を図り、窓口の一本化で手続が分かりやくなる効果も期待している。また、審査庁の事務を市長部局で実施するには、審査会を設置し、委員を任命する必要がある。

第4回定例会

契約変更　石岡駅西口交流施設駐車場整備工事　一部変更

追加対応が必要となった内容を契約

ステーションパーク南側にある市営駐車場、駐輪場を改修するとともに、エレベーターとステーションパーク２階への連絡通路、防災倉庫及び物品用倉庫を備えた建物を整備する工事。ＪＲ常磐線の近接工事のため列車見張員等が必要になったこと及び建物に近接する掘削工事について想定以上に地盤が軟弱であったため鋼矢板土留等を追加すること等に伴い、契約金額に変更が生じた。

時期（会議）	内容
令和5年3月 （第1回定例会）	工事請負契約の締結議案：可決 （契約金額：2億6,389万円）
令和5年6月 （第2回定例会）	契約の一部変更議案：可決 ・新労務単価の適用に伴う変更 （増額：224万4,000円）
令和5年12月 （第4回定例会）	契約の一部変更議案：可決 ・列車見張員等の追加 ・建物に近接する地盤の補強のための鋼矢板土留工事の追加　など （増額：3,410万円）

問　以前にボーリング調査も実施しているとのこと。地盤の調査結果などをしっかりと精査して実施設計を組めば、今回のような変更は必要なかったのではないか？

答　今回は、想定以上に基礎が近接し、掘削しないと分からなかった部分がある。今後は、実施設計の内容を精査し、変更がないような工事ができるよう進めていきたい。

第4回定例会

補正予算

物価高騰重点支援給付金給付事業

5億4,801万7千円を計上

国からの物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用し、電力・ガス・食料品等の物価高騰による負担増を踏まえ、令和５年度分の市民税均等割が全員非課税の世帯に対し、生活支援のための給付金である物価高騰重点支援給付金を、１世帯当たり一律７万円給付する。

問　職員等人件費の増額、さらに人材派遣の委託料も計上されているが、委託内容は？

答　発送する郵便物関係の通知取りまとめや、コールセンターでの電話問い合わせの対応、窓口での届出受付などを予定。

第4回定例会

請願

請願の審議（１）

受理した請願５件について結論を出しました。　（続きは次ページ）

●市道のかさ上げ工事に関する請願（紹介議員：中根淳一）

請願趣旨　高浜から三村地内の水田に隣接する市道が年々沈下しており段差ができていることから、道路のかさ上げを求める。

審査委員会　産業建設委員会

委員会の意見　委員からは「現地を見た限り確かに地盤が悪いので道路も悪くなるだろうという思いはあったが、現状を見るとそこまで緊急的に、それこそかさ上げが必要だと、また補修が必要だというような場所ではないように思う」との意見や、「そもそもこの道路の先に民家があり人が住んでいるわけではなく農地のための道路で、本年６月のときの豪雨であれば、生活道路の多くが冠水し、それ以外の大雨でも、いまだに生活道路ですら冠水が起き、生活に支障が出てきている場所があると聞いており、優先順位をつけて取り組んでいることと思う」、「補修等については、土地改良区と協議して、対応すべきところがあれば適宜対応はしていってもらいたい」などの意見が出されました。

審査結果　不採択

●排水路整備に関する請願（紹介議員：中根淳一）

請願趣旨　高浜地内の水田に隣接する水路について、排水の状況が悪いため、排水路整備を求める。

審査委員会　産業建設委員会

委員会の意見　委員から、「現状を見た限りでは、整備した後の現状が余りにも悪すぎると思う」との意見や、「桜づつみの管理は、市で管理するわけなので、その水路の部分を一度きれいにして、土地改良区のほうとも協議し、すべてきれいになるように今後していただきたいと思う」、「今の状況から判断して、土地の所有が県などということもあり、今の現状でそういったことをやることはできないと思う」などの意見が出されました。

審査結果　不採択

●八郷総合支所前駐車場に電気自動車用充電器スタンドの設置に係る請願（紹介議員：鈴木将史）

請願趣旨　電気自動車が政府の補助金、ガソリン価格の上昇を要因として急速に普及している状況において、石岡地区に電気自動車用急速充電器スタンドが設置されたが、八郷地区には１基もないことに対し、八郷総合支所前駐車場へ電気自動車用充電器スタンドの早急な設置を求める。

審査委員会　総務企画委員会

委員会の意見　委員からは、「歳入に対して市から負担する部分を費用対効果で見ると、本庁舎よりも厳しい数字になり、本来であれば、電気自動車をこれから普及させようという民間事業者が、こういう充電設備を整備すべきでは」といった意見や、「設置費用も当然高額なものなので、国の動向を見据えた後に判断することで間に合うのでは」、「フラワーパークなどの観光施設においては有効な充電設備であるということは理解できるが、一つの充電器にこだわるのは、まだまだ時期尚早ではないか」といった意見が出されました。

審査結果　不採択

第4回定例会

請願　請願の審議（2）

●石岡市市道B0104号線の排水整備の実施に係る請願（紹介議員：鈴木将史）

請願趣旨 市道B0104号線において排水が整備されていない箇所があるため、排水路の整備を求める。

審査委員会 産業建設委員会

委員会の意見 委員からは、「この案件については以前請願があり、以前のときの問題としては緊急性や利用頻度などの問題などがあり不採択となったが、以前の提出から期間が近く時期尚早ということ、緊急性が感じられないというようなことで、不採択とすべきものと思う」との意見や、「この道路は八郷の中では幹線道路となっており、車両は大変多く通ると思うので、水たまりの処理はすべきだと思う。道路の端に土が盛ってあり、水が水路に入らない状況になっているものについて対処するべきだと思う」などの意見が出されました。

審査結果 不採択

●石岡市民会館跡地に地域住民のコミュニケーションを図る場を求める請願（紹介議員：池田正文）

請願趣旨 市民会館等の跡地利用において、地域住民が集える場を設けることを求める。

審査委員会 産業建設委員会

委員会の意見 委員からは、「この請願に応えて、石岡小学校の空き教室等を利活用して、コミュニケーションを図れる場を提供することを、ぜひ執行部には考えてほしい」との意見や、「行政がこうした物事を進めていく上で、地域の要望や声を聞いて進めていくことが、市の行政の進め方と思っているので、この請願を受理して進めて行くべき」との意見が出されました。

審査結果 採択

議案の審議結果

■全会一致で可決

令和５年第４回定例会

予算	令和５年度石岡市一般会計補正予算（第６号）
	令和５年度石岡市国民健康保険特別会計補正予算（第２号）
	令和５年度石岡市介護保険特別会計補正予算（第３号）
	令和５年度石岡市介護サービス事業特別会計補正予算（第２号）
	令和５年度石岡市水道事業会計補正予算（第２号）
	令和５年度石岡市公共下水道事業会計補正予算（第２号）
	令和５年度石岡市農業集落排水事業会計補正予算（第２号）
	令和５年度石岡市一般会計補正予算（第７号）
決算	令和４年度石岡市駐車場特別会計歳入歳出決算認定
	令和４年度石岡市霊園事業特別会計歳入歳出決算認定
	令和４年度石岡市介護サービス事業特別会計歳入歳出決算認定
	令和４年度石岡市水道事業会計未処分利益剰余金の処分及び決算認定
	令和４年度石岡市公共下水道事業会計未処分利益剰余金の処分及び決算認定
	令和４年度石岡市農業集落排水事業会計未処分利益剰余金の処分及び決算認定

令和５年第４回定例会

条例	石岡市部等設置条例の一部改正
	石岡市行政不服審査法施行条例の制定
	石岡市印鑑条例の一部改正
	石岡市監査委員条例の一部改正
	石岡市職員の給与に関する条例等の一部改正
	石岡市国民健康保険税条例の一部改正
	石岡市下水道事業等の設置等に関する条例の一部改正
	石岡市水道事業の設置等に関する条例の一部改正
	石岡市火災予防条例の一部改正
人事	教育委員会教育長の任命（岩田利美氏）
	教育委員会委員の任命（真家隆史氏）
	固定資産評価審査委員会委員の選任（鈴木寛氏、鈴木実智子氏、須賀田彰夫氏、岡本かつ江氏、松﨑守男氏、比企俊雄氏）
	石岡市及び事務組合公平委員会委員の選任（磯山祐一氏）
その他	指定管理者の指定（旭台会館）
	指定管理者の指定（南台コミュニティセンター）
	指定管理者の指定（杉並コミュニティセンター）
	指定管理者の指定（勤労青少年ホーム）
	指定管理者の指定（デイサービスセンター）

■全会一致で可決・採択

令和５年第４回定例会	
その他	指定管理者の指定（特別養護老人ホームのぞみ）
	指定管理者の指定（柏原野球公園，柏原サッカー公園及び柏原球技公園）

令和５年第４回定例会	
その他	市道の変更（A2152号線（村上地内））
	「工事請負契約の締結について」の一部変更（Ｒ４（仮称）石岡駅西口交流施設駐車場整備工事）
請願	石岡市民会館跡地に地域住民のコミュニケーションを図る場を求める請願（紹介議員：池田正文）

■賛否が分かれたもの（賛成多数で可決）

※「○」は賛成、「●」は反対、「－」は退席等
※議長は、採決に加わりません。

	案件名＼議員名	鈴木将史	富田雅史	中根淳一	鈴木康仁	飯村一夫	新田茜	川井幸一	櫻井茂	石橋保卓	岡野孝雄	玉造由美	勝村孝行	谷田川泰	小松豊正	山本進	村上泰道	池田正文	菱沼和幸	岡野孝男	髙野要	鈴木行雄
第４回定例会	令和4年度石岡市一般会計歳入歳出決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○
	令和4年度石岡市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○
	令和4年度石岡市介護保険特別会計歳入歳出決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○
	令和4年度石岡市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○

■賛否が分かれたもの（賛成少数で不採択）

	案件名＼議員名	鈴木将史	富田雅史	中根淳一	鈴木康仁	飯村一夫	新田茜	川井幸一	櫻井茂	石橋保卓	岡野孝雄	玉造由美	勝村孝行	谷田川泰	小松豊正	山本進	村上泰道	池田正文	菱沼和幸	岡野孝男	髙野要	鈴木行雄
第４回定例会	市道のかさ上げ工事に関する請願（紹介議員：中根淳一）	○	○	○	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	●	●	●	●	●
	排水路整備に関する請願（紹介議員：中根淳一）	○	○	○	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	●	●	●	●	●
	八郷総合支所前駐車場に電気自動車用充電器スタンドの設置に係る請願（紹介議員：鈴木将史）	○	●	○	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	石岡市市道Ｂ０１０４号線の排水整備の実施に係る請願（紹介議員：鈴木将史）	○	○	○	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●

≪会議の欠席状況≫ 12/4　本会議 川井幸一　　12/5　本会議 川井幸一　　12/13　複合文化施設建設特別委員会 岡野孝男

[おわびと訂正]

いしおか市議会だより第89号におきまして、掲載している内容に次のとおり誤りがございました。訂正しておわびを申し上げます。

・９ページ議案の審議結果
■賛否が分かれたもの（賛成少数で不採択）

【誤】・案件名１件目「石岡のおまつり・本道回帰」に関する請願（産業建設委員会所管にかかる部分）
・案件名２件目「石岡のおまつり・本道回帰」に関する請願（文教厚生委員会所管にかかる部分）

【正】・案件名１件目「石岡のおまつり・本道回帰」に関する請願（文教厚生委員会所管にかかる部分）
・案件名２件目「石岡のおまつり・本道回帰」に関する請願（産業建設委員会所管にかかる部分）

	案件名＼議員名	鈴木将史	富田雅史	中根淳一	鈴木康仁	飯村一夫	新田茜	川井幸一	櫻井茂	石橋保卓	岡野孝雄	玉造由美	勝村孝行	谷田川泰	小松豊正	山本進	村上泰道	池田正文	菱沼和幸	岡野孝男	髙野要	鈴木行雄
第３回定例会	「石岡市のおまつり・本道回帰」に関する請願（文教厚生委員会所管にかかる部分）（紹介議員：鈴木行雄、髙野要、鈴木康仁）	●	○	○	○	●	●	－	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	●
	「石岡市のおまつり・本道回帰」に関する請願（産業建設委員会所管にかかる部分）（紹介議員：鈴木行雄、髙野要、鈴木康仁）	●	●	○	○	●	●	－	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	○

市政を問う！

一般質問

[12月4日～12月6日]

各議員が、市の行う事業の内容を問いただしたり、政策提案をしたりする一般質問。
議員と市執行部との真剣勝負が繰り広げられます。

質問者	質問項目	頁
石橋　保卓	大幅な人口減少を見据えた施策	13
髙野　　要	市内小中学校の統合問題	13
中根　淳一	廃校となった学校施設および跡地の活用	14
	公共施設のネーミングライツ	
岡野　孝男	谷島市政の成果と課題、今後の市政運営	14
	高浜地区の環境整備	
	土砂等による土地の埋立て等	
飯村　一夫	小中学校統合再編計画	15
	上林・上曽線の整備	
小松　豊正	児童館の現地建て替え	15
	市職員のあり方と会計年度任用職員の待遇改善	
	石岡市の歴史と文化財を生かした街づくり	
	自然と生態系を生かした持続可能な有機農業の発展	
新田　　茜	石岡市における高齢者単身世帯の現状と見守り事業等の取組	16
	石岡市におけるデジタルを活用した行政サービスの取組	
山本　　進	「包括施設管理業務委託制度」の導入	16

質問者	質問項目	頁
玉造　由美	女性の農業委員等の登用の促進	17
	投票率アップの取組	
	火災予防	
鈴木　康仁	乗合いタクシー	17
	英語検定の補助金	
	市の遊休地	
鈴木　将史	常陸風土記の丘を含む周辺施設の連携、利活用	18
	石岡駅周辺のにぎわいの創生に向けて	
富田　雅史	動画等を使った石岡市の魅力の発信	18
	石岡市スポーツ推進計画における市民スポーツ行政の現状と進捗	
櫻井　　茂	高齢者のスポーツ環境	19
	防犯カメラの設置	
	農地法改正に伴う農地の利活用	
谷田川　泰	石岡市のまちづくり（都市計画）	19
	企業誘致対策	
	駅前・東ノ辻線の進捗状況	
	令和６年度に向けた重点施策	
村上　泰道	鳥獣被害対策	20
	学校給食費	
	石岡市乗合いタクシー事業	

※各記事に掲載されている二次元コードから、質問者ごとの録画映像をご覧いただけます。

紙面の都合上、■で色付けした項目のみ掲載しています。
※スマホなどで、各議員のページに掲載している二次元コードから、すべての質問の録画映像をご覧いただけます。

石橋　保卓（いしばし　やすたか）

大幅な人口減少を見据え、実効性のある対策と人材確保を

動　画

問 石岡市では、子どもたちを産み育てる若い人たちの人口増加が一向に生じていない、逆に人口減少に拍車がかかっている状況です。これからの具体的な人口増加対策というのはどのようなものを考えているのか伺います。

やはり当市が地理的にも魅力ある地域という中で、人口増加策としての企業誘致や若い人たちのUターン促進、工場や事業所を建設できる場所の確保や安価で優良な住宅地を提供するための都市計画区域の見直しが必要であると考えます。また、様々な計画を立て、そこで足踏みしてしまう、満足してしまうのではなく、その後の実効性が一番重要です。そのための有能な職員、人材育成も含めて必要になってきます。若手の退職者がかなり急増していることを含め、危機的な状況であるということの自覚を持って市政に当たってほしいと思います。

答 人口減少は、地域の経済活動や地域コミュニティーにマイナスの影響を与える大きな要因であり、地域の持続可能性という面で極めて重大な課題であると考えます。人口増減の傾向として、社会増減においてはここ一、二年改善が見られますが、自然増減においては減少傾向が止まず、人口減少対策を最重要課題として取り組む必要があると考えます。

そういった中で、令和6年度に福祉部と子育て健康部を設置し、子育てに力を入れているまち、そして企業誘致推進室や空家相談室、人口創出課の新設等を行いたいと考えています。議員からお話がありましたが、当市の魅力をきっちりと形にしていくことで、選んでもらうまちをつくります。そして、事業と組織の両輪で課題に全力で当たっていきたいと思います。

（単位：人）

年	自然動態（出生・死亡）	社会動態（転入・転出）
R2	△583	△314
R3	△684	△285
R4	△1,155	△73

▲石岡市の人口動態の推移　△＝減

髙野　要（たかの　かなめ）

南小学校統合　新築ではなく長寿命化工事とした執行部の判断を問う

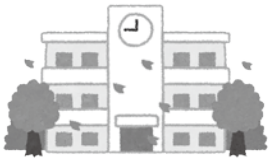
動　画

問 南小学校の校舎について、統合する際に新築の検討はしたのか、改めて伺います。次に、令和5年第2回定例会で、「南小学校は築年数の割に建物の状況がよく、建て直した場合は国庫補助が出ず、市単独整備となる」との答弁がありましたが、どの基準がどの程度よかったから補助対象とならないのか、具体的に伺います。

現在の状況、今後の活用から見ても、私は新築を優先して考えるべきだと思います。まずは新築を検討し、どうしても対象にならない、市の財政では賄い切れないのであれば仕方ないことかもしれませんが、まずは申請、協議してみることが大切だと思います。本当に未来の子どもたちを考えるのであれば、何が最善か全庁を挙げて考えていく必要性があるかと思いますが、市長の見解を伺います。

答 国から長寿命化工事に関する様々な方針が示されており、石岡市でも学校施設個別施設計画等に基づき長寿命化工事を進めています。南小学校も、建物の建築年や現況等を踏まえ、長寿命化改修工事で対応することにしたものです。新増築の場合、教室不足を解消するためや、旧学校の建物を使用することが不適当と認めるとき等に、補助金が該当になることもあります。南小学校の場合、教室数の不足が生じないこと、また、耐震改修により安全も確保されているため、支援を受けられる面積が少なくなってしまい、国の補助を求めることは厳しいと認識しています。

学校は、未来を担う子どもたちが学校生活を送る最も重要な場所です。今後の学校の統合再編や施設整備についても、可能な限り早急に対応していきたいと考えます。子どもたちの安全を第一としつつ、議員のご指摘も真摯に受け止めながら、よりよい学校施設の整備を進めていきます。



※各記事に掲載されている二次元コードから、質問者ごとの録画映像をご覧いただけます。

中根（なかね） 淳一（じゅんいち）

将来世代のため、市の貴重な資産である学校施設の積極的活用を

動画

問 一生の中で義務教育である小中学校はコミュニティー生活の入り口です。学校生活に困っている子どもたちがいる中、あすなろを利用する保護者から切実なお願いがありました。府中小学校内にあるあすなろを利用中の子どもたちが府中小学校に通う子たちに見られたくないという話を聞きました。

例えば、来年度に閉校となる高浜小学校や北小学校の中に、あすなろのような機能を強化しつつ、民間フリースクールとの連携を模索するなど、好立地な施設を有効活用していくべきだと考えますが、官民連携による複合的なサービスの提供について検討しているのか伺います。

これからは連携と現場との対話を重視し、学校施設等跡地の有効活用を進めていただきたいと思いますが、考えを伺います。

答 近隣自治体では、筑波山地域ジオパークと自転車の拠点施設として筑波山ゲートパークをオープンするなど、民間事業者による学校跡地の活用が進められています。石岡市としては、地域の実情等を勘案し、サウンディング調査を今後進め、また、国の「みんなの廃校」プロジェクトも活用しながら跡地利用の可能性を探っていきます。

また、フリースクール等と連携を深めるため、不登校の支援を行っている団体が集まったイベントに参加し、支援方法等の情報共有をし、新たな連携について検討しています。

今後も不登校児童生徒の多様な学びの場が確保できるよう、校内での居場所づくりと1人1台端末の利用や教育相談室、あすなろの機能を強化、また民間フリースクールとの連携の強化に取り組みたいと考えます。

▲文部科学省でも廃校施設の活用を推進している

岡野（おかの） 孝男（たかお）

高浜地区の排水機場 市が責任を持って整備をすべき

動画

問 令和5年6月の台風に伴う大雨の際、恋瀬川最下流の高浜地区では、愛郷橋から下流は翌日になっても水が引かず一帯が浸水していました。愛郷橋上流においても道路の冠水跡や排水路の崩れた箇所が随所にあり、ひどい状況でした。

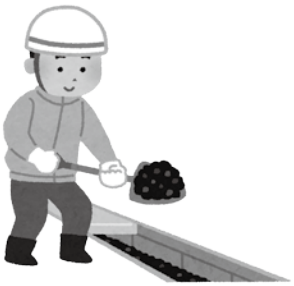
私が見たところ、排水機場の付近の整備が不十分で、あれでは十分に排水できないように見受けられました。第2排水機場の周辺は、湿地帯がありヨシのようなものが生えているため、度重なる雨によって水が全然はけていない場所があり、これも排水機場が十分に機能していない原因ではないかと思います。

このままでは、高浜地区の皆さんが大雨のたびに心配になります。今まで整備できなかったということは、色々ハードルが高いところもあるかもしれませんが、責任を持って、管理者である石岡市が解消に向けて努力してほしいと考えます。

答 高浜第1、第2排水機場付近は、計画的な排水路整備に取り組んでおり、本年度も排水路の整備工事を実施しているところです。また、近年は排水ポンプの更新や、毎年排水路の土砂撤去なども行っています。

第2排水機場周辺は、用地の大半が民地であり、境界が確定していない土地や所有者が明確でない土地なども混在しており、これまで整備が行えませんでした。今後、どういう対応ができるか調査研究をしたいと考えています。

頻発化、激甚化する災害、特に高浜地区では内水氾濫が起きている状況を見てきており、どうにかしなくてはいけないという思いです。安全安心に住み続けられるまちを作っていくために、排水機場の付近の湿地をどのようにしていくか、しっかりと対応策を講じていきます。



※各記事に掲載されている二次元コードから、質問者ごとの録画映像をご覧いただけます。

飯村（いいむら）　一夫（かずお）

上林・上曽線の暫定路線整備　将来的に二重投資になるのでは

動　画

問 上曽トンネルについて、開通後は物流の活発化に伴い交通量が増加し、大型車がこれまでとは比較にならないほど流入してくると思われます。

重要な路線である上林・上曽線は、当時の石岡市長、そして八郷町長で指定したわけですが、最終的には暫定型との話になっています。将来のことを考えると、計画のとおり整備することが安全性や観光、物流の活性化につながるものと思います。この上林・上曽線を計画どおり整備するためにも、市長が先陣を切ってやっていくべきだと思います。これまでも将来的には計画路線の整備をしていくとの答弁はありましたが、スケジュールを伺います。

また、市民懇談会の中で暫定路線の整備が終われば計画路線の整備を必ず進めていくと発言をされましたが、これは二重投資ではないかと思います。

答 上林・上曽線は、全体延長4・2キロメートルの区間のうち約2・5キロメートルを優先区間として事業を進めています。この優先区間について完成のめどが立ったことから、下宿交差点までの約1・4キロメートルを現道拡幅とする暫定整備として進め、令和7年度中の完成を目指しており、概算事業費として約16億円を見込んでいます。

当初路線については、橋りょう整備や交差点改良などの整備手法などを勘案し、検討していきます。想定費用については、恋瀬川を横断する橋りょう工事など、概算工事費のみで約20億円、これに用地費等を合わせるとさらに数億円の事業費が上乗せされる見込みです。上林・上曽線については、八郷地区の基軸道路として整備を進めていかなければならないと感じますので、引き続き検討を進めます。

小松（こまつ）　豊正（とよまさ）

重要な役割を果たす会計年度任用職員　積極的な待遇改善を

動　画

問 石岡市において重要な役割を果たしているのが会計年度任用職員であると認識しています。その人数と、そのうち女性は何人なのか、また、フルタイムとパートタイムの人数についても伺います。

次に、給与の格差について伺います。会計年度任用職員の年間1人当たりの平均給与は常勤職員との格差が非常に歴然としている、実際にものすごく低いという事実があります。この問題を改善する必要があると強く考えます。また、会計年度任用職員として長年従事してきた方が常勤職員になりたいと希望する場合は、採用の道を開く必要があると思います。

さらに、茨城県における最低賃金の時給は954円ですが、これを1500円に直ちに引き上げ、積極的に給与改善すべきだということを強く主張したいと思います。当市の現状と、考えを伺います。

答 当市の会計年度任用職員の人数ですが、令和5年8月1日現在で、433名。うち女性が354名で、全体の女性が占める割合としては81・76％という状況です。会計年度任用職員はすべてパートタイムで任用しています。

年間1人当たりの給与は、年間の勤務実績があり期末手当の支給がある354名の平均として152万6668円です。一般職については、男性が平均で591万313円、女性が492万5636円となっています。近年、会計年度任用職員が当市の職員採用試験を受験され、合格した実績もあります。ぜひ採用試験を受けていただきたいと考えます。

議員よりお話のあった当市の会計年度任用職員の報酬の時給については、今回の議会で議決されれば996円となるので、茨城県の最低賃金を上回るものと認識しています。

※各記事に掲載されている二次元コードから、質問者ごとの録画映像をご覧いただけます。

にった　あかね
新田　茜

地域を巻き込み、独り暮らし高齢者の見守り強化を

動　画

問 日本全体の人口に占める高齢者割合の増加に伴い、65歳以上の独り暮らしも増加傾向で、今や65歳以上の6人に1人が独り暮らしだと言われています。令和2年国勢調査で石岡市の高齢者単身世帯数は3268世帯とのことですが、現在当市が実施している高齢者単身世帯への見守り等の取組状況を伺います。

実際に人の目で見守ることについて、市のみでは限界があると思いますので、地域を巻き込んだ支えが必要だと考えます。他市では、協力団体等と定期的に連絡会を実施し、課題の共有・報告、必要に応じ講座等も開いているようです。さらにほかの事例として、専用の見守りアプリで、離れて暮らす家族や自治体等とつながり、離れていても見守りができるシステム等があるようです。このような成功事例をもとに、当市でも見守り事業の強化をしてはどうかと考えますが、見解を伺います。

答 当市における高齢者単身世帯への見守り事業等の取組としては、安否確認を目的に独り暮らし高齢者宅へ乳製品を配付する事業、独り暮らし高齢者や病弱高齢者のみの世帯への弁当配達サービス、自宅の固定電話に通報装置を取りつけて緊急時に消防署へ連絡できるシステム、有事の際の緊急連絡先を記載した独り暮らし高齢者台帳の作成、市内事業者に高齢者等の見守り協力店となっていただく協定の締結などがあります。

高齢者人口の増加に伴い、各自治体において様々な見守り事業が実施されています。ご提案いただいた見守り方法についても、当市として注視していきたいと考えます。それも含め、現在当市で実施している見守り事業について、必要に応じて見直しも視野に入れながら、また、関係団体との連携強化も図りながら充実を図っていきたいと考えます。

やまもと　すすむ
山本　進

業務の効率化・適正化のため包括施設管理業務委託制度の導入を

動　画

問 近年、公共施設マネジメントの取組として、包括施設管理業務委託制度を実施する自治体が増えてきています。

この制度は、複数の公共施設の維持管理業務を包括的に委託管理することによって、統一した考え方による適切な維持保全を実現するための維持管理手法であると言われています。施設の統廃合や複合化など、大規模な工事などを伴わないため取り組みやすく、公共施設マネジメントを進めていく上でも効果の高い手法とされています。

私は、石岡市も保守点検業務の効率化と管理の適正化を図るためにこの制度の導入を図るべきであると考えています。当市でも、他の自治体での先進事例について調査研究するなど、計画策定の準備に着手していますが、今後の展望について伺います。制度導入に向けて市長にもっと明確な形で指示を出してほしいと思います。

答 先進事例の調査を踏まえ、今後はまず小中学校や保育所などへ試験的に包括施設管理業務委託制度を導入することを検討したいと考えます。

導入によって、利用者に対して良質かつ持続可能な公共施設サービスの提供が可能になります。メンテナンス業務等に精通した事業者がマネジメント会社として参画することにより、施設管理体制の強化が図られ、安全安心な管理運営サービスへつながると考えています。

また、契約業務には、数多くの職員が関わるとともに、多くの時間が必要とされますが、当制度の導入により職員はほかの業務に注力することが可能となり、各種市民サービス水準の向上にもつながると考えます。

段階的な導入を含めて、今後もしっかり取組んでいくように指示していきます。

※各記事に掲載されている二次元コードから、質問者ごとの録画映像をご覧いただけます。

たまづくり　よしみ
玉造　由美

選挙の投票率アップのため、移動期日前投票所の導入を

動画

問 現在、投票日当日の投票のほか、期日前投票の利用が大変多くなっていると感じています。そこで、近年の期日前投票者数の推移を伺います。

当日の投票だけではなく、期日前投票についても投票しやすい環境を整えることは大変重要だと思います。特に、期日前投票所から遠く離れたところにお住まいの方は、より身近なところにあると投票しやすいと感じます。茨城県内でも移動期日前投票の取組がなされていると聞いていますが、近隣市ではどのように取り組んでいるか伺います。

移動期日前投票所が実施されれば、投票所が市民の目の前まで移動してくるということですので、投票率アップにつながらないわけがないと考えます。移動期日前投票所の導入について、市長の考えを伺います。

答 令和3年度から現在までに執行された選挙では、全投票数に占める期日前投票数の割合は45％前後で横ばいとなっていますが、石岡市議会議員選挙の期日前投票の状況を比較すると、平成27年は26・1％、平成31年は35・6％、令和5年は45・6％と、期日前投票数が増加しています。

令和5年12月に執行された小美玉市議会議員選挙では、移動期日前投票所を設置し、小美玉市内の商業施設3か所において1日ずつ開設され、合計584名の投票があったと伺っています。

投票率の向上は、より多くの市民が政治参加をすることにつながります。それは、まちづくりを自分事と捉えているということであり、大変重要なことだと考えます。議員ご提案の期日前投票については、投票機会の充実及び選挙の周知PRに効果的な取組であると考えており、誰もが投票しやすい環境づくりとともに積極的に進めていきたいと考えます。

すずき　やすひと
鈴木　康仁

乗合いタクシーシステムへのAI導入で本当に利便性は向上したのか

動画

問 乗合いタクシーの予約システムにAIを導入したことで利便性が上がったと思いきや、予約が取りづらい、バスに滞留する時間が長くなったという声や、乗合いタクシーの運転士がなかなか休憩を取れていない現状であると耳にします。AIシステムを取り入れたことによってどのような変化があったのか伺います。

やはり利用者側の立場で言えば、さらなるサービスの向上という面で、以前より提案していますが、土日の運行というものを考えていかなければならない時期に来ているように思います。そして、石岡市の担当は都市計画課ですが、利用者も高齢者が多いようなので、より適切な対応をとれる部署に所管を変更することも検討していくべきであると考えますが、見解を伺います。

答 AIシステム導入の効果については、時間便を廃止したことで、より柔軟な運行が可能になりました。また、受付方法も、ウェブから24時間予約ができるようになりました。しかし、事業者からは、システムの地図の精度が悪いことや、システム上の到着時間に比べ実際の運行時間が遅れ、運転士の休息時間が少なくなっているとの意見がありました。システムの更新を徐々に進めながら利用者の利便性に寄与していきたいと考えます。

特に土日については利用が減っているというタクシー会社の方の話もある中で、乗合いタクシーの在り方を検討していかなければならないと考えます。所管については、交通弱者、交通移動制限者というところで、一括して都市計画課のほうで担当しています。議員お気づきの点については、検討していきたいと思います。

▲石岡市のホームページでは「乗合タウンメイト」として利用のしおりを作成している

※各記事に掲載されている二次元コードから、質問者ごとの録画映像をご覧いただけます。

鈴木（すずき） 将史（まさふみ）

桜の開花時期に特化したシャトルバス運行の協議検討を

動画

問 常陸風土記の丘は県内に誇れる桜の名所で、人気があることで多くの方が来場されていますが、桜の時期ですと周辺の狭あい道路等は大変混雑をしていて、周辺の近隣住民等へも迷惑がかかっているのではないかと思います。渋滞問題に対して真摯に対応していかなければいけませんが、解決策としてどのような取組をしているのか伺います。

例えば、イベント広場や土日の市役所駐車場を臨時駐車場として使用し、そこから石岡駅からのシャトルバスについても検討してもいいのではないかと思います。また、フラワーパークに関しては駐車場整備が大分進んでいるため、フラワーパークと風土記の丘を往復するバスなども、桜の開花時期に限定して運行させるということも面白いかと思いますが、シャトルバスや周遊バスの運行についての考えを伺います。

答 道路渋滞の解決策ですが、3つの対策を講じています。1つ目に、隣接する染谷野球場に臨時駐車場を開設し、来園者の車両流入を分散し、主要道路の渋滞対策を行っています。2つ目に、駐車場を一方通行とし、駐車場の利便性向上に努めています。3つ目に、主要道路にパイロンを設置し違法駐車がないように努めています。また、指定管理者の産業文化事業団と調整を行い、桜の時期に臨時的な駐車場の確保について現在協議を進めています。

バスの運行に関しては、令和4年4月から石岡・やさと観光周遊バスの運行を開始し効果的な渋滞軽減を目指しています。また、シャトルバスについては、来園者の声を積極的に受け入れ、近隣施設との課題を整理し、運行が可能か調査研究をしていきたいと考えます。

▲常陸風土記の丘のさくらまつり。桜の時期には多くの人で賑わう

富田（とみた） 雅史（まさし）

スポーツ行政推進のため利用者目線の制度設計を

動画

問 市内にはスポーツ振興課で管理している施設のほかに、勤労青少年センターや城南地区公民館の体育館、さらに、団体登録し申請すれば利用できる学校体育施設や、広域利用協定により相互利用ができる近隣市のスポーツ施設などがあります。利用するために調べようとすると、所管がばらばらであり、周知方法や予約方法も様々であるため、私自身も非常に苦労しました。

現状では、予約初心者がスポーツ施設を利用するまでに非常に高いハードルがあります。今後、部活動の地域移行や、コロナ禍明けで市民の体力回復に向けてのスポーツ施設の利用が増えていくなかで、市民サービスの向上、スポーツ行政推進のためには、利用者目線の制度設計が必要です。部局横断で連携して、新たな予約方法や鍵の受渡し方法など、充実に向け検討してもらいたいと思います。

答 公の施設の利用について、指摘があったように、利用する際には様々な不便があると認識しています。現在は、担当課や施設ごとにホームページに掲載されている状況ですが、利用者の立場から、スポーツ施設の利用という視点でまとめてホームページへ掲載することも効果的であると考えています。今後は、分かりやすいホームページの作成、また、ホームページ以外での施設周知に関しても改めて検討していきます。

現在、他自治体での先行事例となるシステムを参考にして、スマートフォンなどで施設を予約し、暗証番号で無人施設の施錠をリモートで解錠するようなシステムについて調査検討を進めています。利用する方に配慮しつつ、市民の利便性の向上に向けて、部局横断的に改善に努めていきます。

スポーツ施設予約

▲石岡市の一部のスポーツ施設では、WEB予約ができるものもある

※各記事に掲載されている二次元コードから、質問者ごとの録画映像をご覧いただけます。

さくらい しげる
櫻井 茂

自宅への防犯カメラ設置補助事業の実現で、ネットワークの拡大を

動画

問 防犯カメラを設置する目的として、犯罪の抑止などが挙げられます。設置計画では、当初毎年度5基の設置を予定していたけれども、県の補助が出るようになり、毎年度3基になったと答弁がありましたが、その理由を伺います。

また、市が防犯カメラを全面的に設置する場合は、場所と録画機能の筐体をどこに設置するかというのは大きな問題ですが、自宅につける市民に一部補助をすることで、どんどん防犯カメラが設置されていくと思います。道路なり周辺を映していただくということが担保されれば、一定程度補助を出すことで防犯カメラのネットワークが市内全域に広がり、かつ市の負担は非常に減ります。市民に対する補助事業として設置台数の増を図る考えを伺います。

答 防犯カメラの設置については、平成22年度から整備を開始したところです。平成30年度までに駅周辺や市内主要幹線道路を中心として、計23基の防犯カメラを設置してきました。令和元年度より小学校区の整備ということで、当初5基を毎年度実施する計画でしたが、予算の範囲内で実施をし、令和元年度が2基、令和2年度2基で、県の補助が入った令和3年度からは3基という状況です。予算の中で最大限努力したという結果だと思います。

また、防犯カメラ設置により犯罪監視の目が広がることで、一定の犯罪抑止効果が発揮されているものと考えます。防犯カメラの有効性については、議員ご指摘のとおりですので、提案のあった制度についても、行政だけではなく、市民の皆さんと共に防犯意識あるいは防犯カメラを設置していくような仕組みづくりを検討していきたいと考えます。

	住宅侵入窃盗	自動車盗難
認知件数	1,206件	615件
犯罪率※	42.5件（全国ワースト1位）	21.7件（全国ワースト1位）

▲令和5年の茨城県の窃盗等の状況
※犯罪率は人口10万人あたりの認知件数

やたがわ やすし
谷田川 泰

石岡市のまちづくり 今求められる大胆な政策の実施を

動画

問 立地適正化計画の現在の進捗状況や取組から判断して、石岡市の目指すコンパクトシティへの到達は到底できないのではないかと思います。形ばかりの政策を抜本的に見直し、都市計画区域の線引きを大幅に見直すべきではないかと何度も提案していますが、当市の考えを伺います。

さらに、住宅用地の購入費の補助とともに新築購入時の補助の増額をするなど、ほかの自治体に先駆けて家を建てやすくし、定住を促進させる政策の実施についても以前より提案してきました。東京までJRで1時間、通勤通学の補助もあり、高速道路のインターチェンジは2か所もある、このようなすばらしい石岡の土地が安く購入できる大胆な政策が今求められていると思いますが、見解を伺います。

答 都市計画区域の線引きの見直しについては、住宅が市全体に低密度に拡散することで、インフラの集中投資が難しくなり、整備に関わるコストの増加が想定されます。コンパクト・プラス・ネットワークを目標に掲げた立地適正化計画に矛盾する施策となる可能性もあるため、現在の市街化区域を維持しつつ、インフラ整備や空き家対策などを実施し、市街化区域での定住人口の増加を目指し、今後も都市計画を進めていきたいと考えます。

また、移住定住対策を含めた人口減少対策は重要であると認識しており、庁内の人口減少対策プロジェクトチームにおいて効果的な施策立案に向け検討を進めてきました。市外からの転入者の住宅新築購入などに対する補助額の上乗せが有効であると判断し、事業化に向けて庁内調整を行っているところです。

立地適正化計画

▲石岡市で策定した立地適正化計画はこちらから

※各記事に掲載されている二次元コードから、質問者ごとの録画映像をご覧いただけます。

村上（むらかみ）　泰道（やすみち）

移動制約者支援としての乗合いタクシー事業をより良いものに

動　画

問　石岡市の乗合いタクシーでは、令和5年の3月から新しくAIシステムが導入されました。先日の説明で地図の精度が悪い、運転士の休憩時間がなかなか取りづらくなったという実例が挙がりましたが、そのほか事業者側からの具体的な課題としてどのようなものが挙げられているのか伺います。

　このシステムを導入した事業者と運行事業者、それぞれ今後の具体的な協議内容や要望内容について、現在説明できる範囲で伺います。予約の取りやすさ等も含めた利用者側からの目線もそうですが、運行会社や運転士の方の目線、現場の声を反映させた新システムの導入、運行に影響する方々が恩恵を受けられるシステムの変更により、この事業がより良い事業になるように、移動制約者の方々への支援、優しいまちづくりを目指してほしいと思います。

答　運行事業所からの意見としては、電話とシステムが連携していないので本人確認に手間と時間を要し、電話予約への対応が長くなっているということです。

　要望に対応するためのシステムの変更には限界があるため、令和6年4月より現在のAIシステムの入替えを予定しています。入替え予定のシステムは、電話とシステムが連動し着信があるとシステム画面に利用者情報が表示され、電話の予約がスムーズに行えるため、予約の取りにくさ、電話がつながらない状況の改善を見込んでいます。さらに、ゼンリンの住宅地図やバスロケーションシステムが備わり、目的地までの時間短縮やスマートフォンでタクシーの現在地を確認できるなど、さらなる利便性向上が期待できます。これらの改善策を進め、引き続き利用者などの要望に応えていきたいと考えます。

▲さらなる利便性の向上が期待される乗合いタクシー

※各記事に掲載されている二次元コードから、質問者ごとの録画映像をご覧いただけます。

能登半島地震支援　義援金を送りました

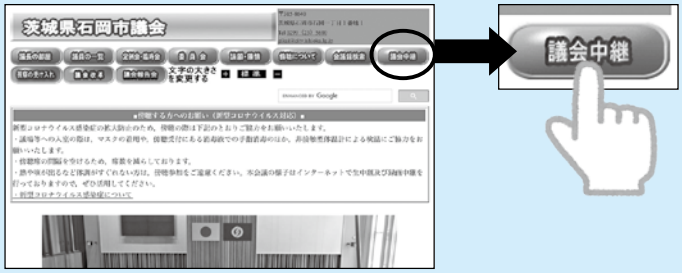
　石岡市議会では、令和6年1月1日に発生した令和6年能登半島地震の被災地を支援するため、全議員から募った義援金22万円（1人につき1万円）を、令和6年2月1日に、北信越市議会議長会が開設する災害義援金口座へ送金しました。

●議会インターネット中継●

生中継でも録画でも！本会議の様子がいつでも見られます

　石岡市議会では、より多くの市民の皆様に本会議を見ていただけるよう、インターネットによる生中継および録画配信を行っています。スマートフォンやタブレット端末でもご覧いただけます。

　詳しくは、石岡市議会ホームページをご覧ください。



※生中継終了後、録画映像を掲載するまでには、おおむね１週間程度かかります。
※この議会中継は、石岡市議会の公式記録ではありません。
　公式の記録は会議録をご覧ください。

常任委員会の活動

石岡市議会には３つの常任委員会が置かれており、各委員会は、担当する部門に関する市の業務内容の調査や、議案と請願・陳情の審査などを行っています。委員会は議会の閉会中も開催しており、積極的な議論が交わされています。

ここでは、最近の委員会において議論された主な内容をご紹介します。

※各記事に掲載されている二次元コードから、質問者ごとの録画映像をご覧いただけます。

総務企画委員会

包括施設管理業務の検討状況

12月11日の委員会では、これまで５回にわたり活発な協議がなされ、協議した内容を基に執行部より説明がありました。

市執行部では、これまで部署や施設ごとに契約をしていた維持管理、修繕について契約を一本化させる包括施設管理業務の検討を現在続けています。導入する目的として、１つに市民から見て、良質かつ持続可能な公共施設サービスの提供が可能になり、２つに行政資産の最適配分が可能になるとの報告がありました。これに対し委員から、「包括の契約は３年や５年と長期で、もし誤った方向に行ってしまった場合、廃業してしまう地元企業もいるのかと思うと、慎重に扱わないといけないのでは」との意見や、「業者に流れる請負金額が上がるのかどうかは、制度を導入しないと分からないが、職員の手から離れることによって、適正な価格、適正な運用も期待できるところではあるのでは」との意見がありました。

文教厚生委員会

スクールバスの保護者負担金

遠距離通学となる児童生徒の通学支援のため運行されているスクールバス。その利用に際する保護者負担金について、かねてより議会や保護者から無償化を求める声が上がっています。

1月12日の委員会において、執行部から、保護者負担金の見直し案の説明がありました。「通学距離は、小学校でおおむね４ｋｍ以内、中学校でおおむね６ｋｍ以内が適正」とする国の基準に照らし、通学距離が小学校４ｋｍ以上、中学校６ｋｍ以上の場合は原則無償とし、小学校４ｋｍ未満、中学校６ｋｍ未満の場合は現在の月３千円から月２千円へ軽減（統合校は統合後５年間無償）するもので、令和６年度からの実施を目指しているとのことです。

委員からの「月２千円をさらに無償化する考えはあるか」との質問に対し、執行部からは「国の基準内の距離は原則徒歩か自転車通学であるため、バスを利用する場合はある程度の負担を求めるのが適正と考える」との答弁がありました。

産業建設委員会

旧市民会館解体工事の進捗

12月12日に開催した当委員会では、一般会計補正予算など、付託された議案14件の審査を行い、すべて原案可決すべきものと決しました。なお、議案第115号について、委員より増額となった理由についてなどの質疑があり、今後の駅周辺の整備に当たっては十分考慮が必要ではないかなどの意見が出されました。

また、所管事務の調査では、旧市民会館解体工事の進捗について説明があり、建物形状の特殊性などの理由により慎重に解体作業を行う必要があることから、工事期間が年内中ではなく、令和６年６月となったとの説明がありました。これを受け委員からは、「当初設計の段階から地下駐車場部分もフラットに戻すということをきいており、執行部の管理がずさんな印象を受ける」、「今後、公共施設の解体工事も発生すると思うが、同じようなことを繰り返すことがないようにお願いしたい」との意見がありました。

▲旧市民会館解体工事の様子（令和６年１月23日撮影）

いしおか市議会だより
No.90

VEGETABLE OIL INK 環境にやさしい植物油インキを使用しています。

議会報告会を開催しました

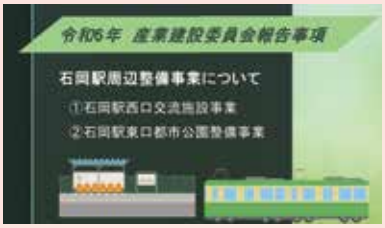
議会報告会

石岡市議会では「開かれた議会」を目指し、石岡市議会基本条例を定めています。この議会基本条例に基づき、市民の皆さまとの情報の共有化、さらには市民の皆さまのご意見を議会活動に反映させるため、平成28年度から「議会報告会」を開催しています。

今年度は、令和6年1月29日（月）、30日（火）に第8回となる報告会を開催し、各常任委員会の活動内容について報告いたしました。当日は多くの方に参加いただき、ありがとうございました。報告内容についてはホームページでも公開していますので、ぜひご覧ください。

総務企画委員会
（ふるさと納税）

文教厚生委員会
（石岡総合保健センター（仮称）の整備）



産業建設委員会
（石岡駅周辺整備事業）

いしおか市議会だより、デジタルブック配信中！

▲カタログポケット

▲ ibaraki ebooks

※デジタルブック配信は、発行日からおおむね1週間以内に行っています。
※アプリ本体の利用は無料。ダウンロードや閲覧に必要な通信費は利用者負担となります。

編集後記

昨年暮れ、国立社会保障人口問題研究所から2050年に日本の総人口は2020年と比べて2,146万人減の1億468万人、茨城県は62万人減の224万人となり、本市においては4万9,199人となるといった厳しい人口推計が示されました。さらに総務省は2024年の新成人（18歳）が106万人、昨年から6万人も減り過去最少となったという数値を公表し、あらためて人口減少が急激に進んでいることが明白となったところです。

当市は、少子化対策、人口減少問題を喫緊かつ最重要課題と位置付けております。議会としても現状を踏まえ効果的な施策の実施及び将来を見据えたまちづくりに向け、定例会での一般質問や議案質疑、各常任委員会において、様々な観点から議論を重ねております。その議論の要旨や審議結果を分かりやすくお伝えできるよう広報活動の充実に努め、真の「開かれた議会」を目指してまいります。（谷田川）

●議会広報委員会
委員長　川井　幸一　　副委員長　新田　茜
委　員　小松　豊正　　委　員　谷田川　泰
委　員　飯村　一夫　　委　員　中根　淳一

第１回定例会の予定　3月

月　日	内　容	場　所	中継
2月20日（火）	開会日（議案の提案理由説明など）	本会議場	○
2月26日（月）	代表質問	本会議場	○
2月27日（火）	一般質問	本会議場	○
2月28日（水）	一般質問	本会議場	○
2月29日（木）	一般質問	本会議場	○
3月　1日（金）	議案質疑	本会議場	○
3月　4日（月）	予算特別委員会（総務企画委員会所管）	全員協議会室	○
3月　5日（火）	予算特別委員会（文教厚生委員会所管）	全員協議会室	○
3月　6日（水）	予算特別委員会（産業建設委員会・複合文化施設建設特別委員会所管）	全員協議会室	○
3月　7日（木）	予算特別委員会（総括審査）	全員協議会室	○
3月　8日（金）	文教厚生委員会	委員会室	
3月11日（月）	総務企画委員会	委員会室	
3月12日（火）	産業建設委員会	委員会室	
3月13日（水）	複合文化施設建設特別委員会	全員協議会室	
3月14日（木）	議会運営委員会	全員協議会室	
3月15日（金）	閉会日（議案の採決など）	本会議場	○

●発行　石岡市議会
●発行責任者　議長　関口　忠男
●編集　議会広報委員会

〒315-8640　茨城県石岡市石岡一丁目1番地1
電話 0299-23-5600　メール gikai@city.ishioka.lg.jp
ホームページ https://www.ishioka-shigikai.jp/